**ＤＴＰで本を出版しよう**

　パソコンは印刷編集の世界に、非常に大きな影響を与えました。パソコンで本や雑誌の編集ができるようになったのです。

　かつて、編集というのは執筆者が書いた原稿を編集者がまとめ、デザイナーがレイアウトして、版下というフィルム作成用の完成原稿を作成しました。さらに、それをフィルムにして印刷所に回していました。この辺は専門用語が多くてわかりづらいかもしれませんが、とにかく複雑な工程と多くの人の手を経て、大変な日数をかけて作成していたわけです。

　それが、パソコンの登場によりパソコン上で編集し、パソコン上でデザインをレイアウトし、パソコンのデータからフィルムを作成して印刷所へ回せるようになりました。今までの編集行程がそのままパソコンに吸収されてしまったのです。このような作業をＤＴＰ（デスクトップパブリッシング）といいます。このやり方は１９８０年代後半から見られるようになり、現在ではかなり一般化しています。

　これを行えるソフトがＤＴＰソフトです。文字のデータやイラストのデータ、写真データなどを取り込んで、パソコン上でレイアウトします。このＤＴＰの分野に使われているパソコンは圧倒的にマッキントッシュが使われています。マッキントッシュはこのＤＴＰの分野で有用性が認められ、急速に台数を伸ばしてきました。

　もちろん、ＤＴＰはプロの人たちのものだけではありません。企業での会報やチラシ、家庭での暑中見舞いや年賀状にも便利に使われています。さらに、句集や詩集、エッセイ、自分史、趣味の本など、自費出版も自分でこだわりながら出版できるようになります。